



杉浦 敏 議員

## 市内全域の禁猟区指定を県に要請を

問

市内全域が禁猟区指定されていない問題を探ねる。(1) 解禁日を迎えると、住民から銃声がする等の不安を訴える声が寄せられる。

禁猟区指定を県に要請してほしいがどうか。

(2) 猟友会との調整は具体的に何をするのか。

(3) 実際に指定されるのにどのくらい時間がかかるか。

(4) 学校周辺、通学路、住宅地では銃を撃たないよう要請することは可能か。

### 安全面を考慮し今後努力したい

答 開発部長

(1) 安全面を考慮し、禁猟区指定は猟友会との調整もあるのですが、それも併せて今

(後努力していきたい。

(2) 猟友会としての意見を求め、県への対応を実施していかなければならない。

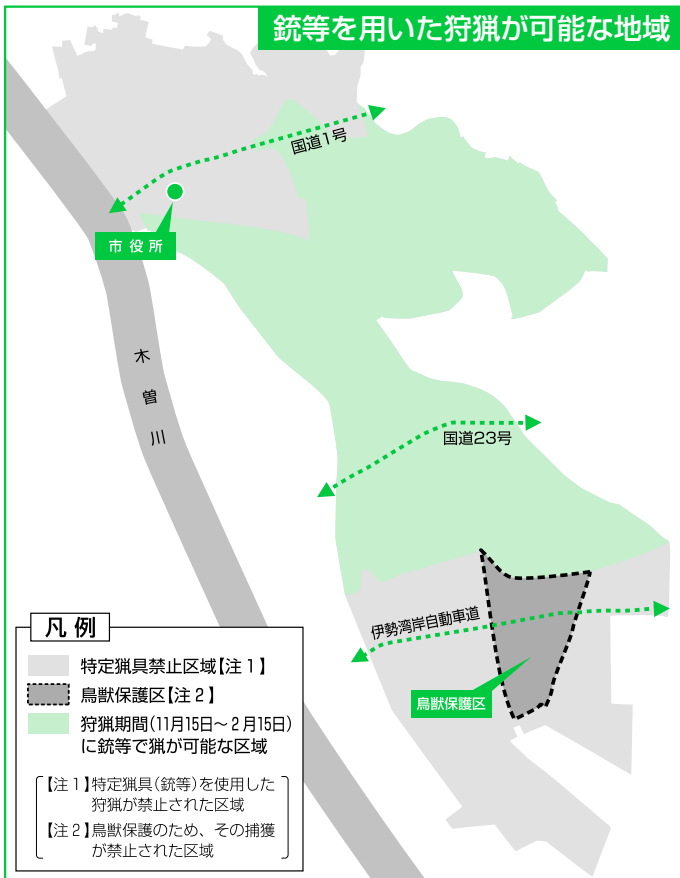
(3) 確約はできないが、来年の猟期に間に合うかを一度よく勉強させてほしい。

(4) 猟期の対応は、猟友会の皆に依頼し、周知徹底を図っていききたい。

### 福祉灯油をどのように実施するか

問

福祉灯油【注】の実施について探ねる。



### 市として実施する考えは無い

答 民生部長

(1) 同事業は寒冷地で実施

【注】自治体が低所得者等に灯油代の一部を助成する事業。自治体は、費用の2分の1を国の交付税措置で受けられる。

(1) 実施してはどうか。

(2) 徳島や岡山県等、暖かい所も使っているがどうか。

され、昨年末時点で県下に実施市町村は無いと聞いています。市として実施する考えは無いので理解してほしい。

(2) 福祉灯油を実施すると1,090万円の財源が必要になってくる。

市は、子ども医療費の堅持(＝中学3年生までの医療費無料制度)、妊婦健診無料化拡大、国民健康保険税の減免を予定し、これらの行政サービス充実を選択する。